



町の話題



停電時に役立つ知識を学びました 男女共同参画出前講座「防災講座」

8月26日に美郷町ふれあいセンターで防災講座（秋田県南部男女共同参画センター・美郷町共催）が開かれ、自主防災組織などから87名が参加しました。

講座では県キャンプ協会事務局長の次田吉明さんが、空き缶やアルミホイルなど身近にあるものを利用した照明器具の作り方や調理方法を参加者に説明しました。また、次田さんは東日本大震災について触れながら、「停電になったらまずは暖をとり、冷静になることが必要」と参加者に話し、ブルーシートを使って体を温める方法を実演しました。

農作業を通じて食の大切さを知る 横浜市立宮田中学校生徒が美郷町で農作業体験

8月31日に横浜市立宮田中学校3年生30名が農作業体験学習のため美郷町を訪れました。生徒たちは、町都市農村交流推進協議会の受け入れ農家で野菜の収穫や収穫後の畑の後片付けなどを手伝い、日ごろできない農作業を体験しました。受け入れ農家の一人である吉方和衛さん（八卦・熊堂）のお宅では、玉ねぎの植ええなどが行われ、慣れない手つきながらも一生懸命に作業する生徒たちの姿が見られました。

同校では修学旅行に農作業体験を組み入れており、美郷町のほか大仙市でも農作業体験を行いました。

農作業体験や民泊受け入れにご協力いただける方は、町都市農村交流推進協議会までご連絡ください。事務局(町農政課) ☎0187(84)4908



毎月いろんな料理に挑戦しています 男の料理講座

9月1日に千畑交流センターで「男の料理講座」が開かれました。町教育委員会が開催している生涯学習講座の一つで、男性も「料理の基礎を学びたい」という要望を受けて今年度から開講しています。

この日は「そばの旨みぞれがけ」「野菜のトマトソースかけ」「プリン」の3品に挑戦。5月から月1回開催していることもあってか、受講生の皆さんは慣れた手付きで調理を進め、約1時間で料理を完成させました。



自分のペースでマラソンを楽しみました 美郷町チャレンジ健康マラソン

9月3日に美郷町チャレンジ健康マラソンが行われ、親子連れなど91名が参加し、美郷町自転車競技場前を発着点とした特設コースを走りました。今年は、6キロメートルの「ファミリー&チャレンジコース」に13名、3キロメートルの「ウォーク&ランコース」に78名が挑戦。準備体操で体をほぐしたあと、距離別にスタートを切り、思い思いのペースでゴールを目指しました。



お詫び

広報美郷平成23年9月号12ページ『平成23年度美郷町成人式』の記事にお名前の誤りがありました。「藤岡貴郁」とありますが、正しくは「藤岡孝郁」さんです。訂正してお詫びいたします。

安全な地域 美郷をめざして 第8回美郷町社会福祉大会

9月1日に美郷町公民館で第8回美郷町社会福祉大会（美郷町社会福祉協議会主催）が開かれ、福祉関係者や町民の皆さん約170名が参加しました。

式典では、佐藤成輝会長のあいさつに続き、社会福祉に貢献した個人と団体に表彰状や感謝状が贈られました。また、共に手をつなぎ支え合う地域づくりの推進に努めることなどを内容とする大会宣言を参加者全員で採択しました。

式典終了後には同協議会の大山文広さんが「大船渡市災害ボランティア活動報告」と題して講演。被災地での活動の様子をスクリーンに映して紹介したほか、熱中症や食中毒の発生など、活動にあたって注意しなければならない問題点を参加者に説明しました。



放射性セシウムに揺れた今年の稲刈りも後半に入りました。私は例年より稲藁の香りに心地よさを感じています。「不検出」だったので「安心した結果の感覚なんだろうなあ」と思っています。みなさんはいかがでしょうか。

さて、今月からいよいよ年度下期に入ります。今年度で区切りを付ける施設、例えば千畑交流センターや3中学校



▲町議会定例会で行政報告をする松田町長

美郷中学校は、開校から一年経過すると確実に第一期卒業生を送り出すこととなります。子供達はほぼ県内の高校に進み、その後、何割かは就職や

風

「準備と対応」

美郷町長 松田 知己

は閉鎖や閉校に、そして来春誕生する施設、例えば美郷中学校は開校に向けて、それぞれが意識としてカウントダウンです。

進学で首都圏に向かうことになると思いますが、いずれその受け皿も必要となります。そこで町では昨年来、在京六郷会や千畑ふるさと会、仙南ふる里会の方々と「会の統合」について意見交換するとともに、今年度の各会の総会に諮り、その準備会設立にご了解をいただいできたところです。先月から各会選出の委員による検討に入っていますが、然るべき時期に円滑に統合が実現できますよう、今後の順調な話し合いを望みたいと心から願っております。